

# 令和元年度 事業報告

公益社団法人 日本皮膚科学会

## 令和元年度 日本皮膚科学会 事業報告

### 1. 会員状況（令和2年3月31日現在総数）

(1) 会員数	12,500名
・正会員	12,205名
・賛助会員	295名
(2) 皮膚科専門医数	6,820名
・新規資格認定者	185名
・資格更新認定者	2,010名
・資格喪失及び資格喪失予定者	129名
(3) 皮膚悪性腫瘍指導専門医	92名
・新規資格認定者	9名
・資格更新認定者	16名
・資格喪失及び資格喪失予定者	2名
(4) 美容皮膚科・レーザー指導専門医	47名
・新規資格認定者	0名
・資格更新認定者	4名
・資格喪失及び資格喪失予定者	0名

### 2. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

#### (1) 総会、学術大会

- ・第118回日本皮膚科学会総会

会頭：秋山 真志（名古屋大学）

会期：令和元年6月6日（木）～6月9日（日）

場所：名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）

- ・第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会

会長：奥山 隆平（信州大学）、石河 晃（東邦大学）

会期：令和元年11月16日（土）～17日（日）

場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・第70回日本皮膚科学会中部支部学術大会

会長：望月 隆（金沢医科大学）

会期：令和元年10月5日（土）～6日（日）

場所：ホテル日航金沢・金沢市アートホール（石川県・金沢市）

- ・第71回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
会長：佐野 栄紀（高知大学）  
会期：令和元年9月7日（土）～8日（日）  
場所：高知市文化プラザ かるぼーと（高知県・高知市）
- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会を開催し、運営を本部にて実施。また、総会の講演についてE-learningを実施

## (2) 講習会

- ・必須（総会）  
日時：令和元年6月9日（日）9:00～11:05、13:50～15:55  
場所：名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）
- ・必須（夏）  
日時：令和元年8月24日（土）10:30～16:00  
場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・必須（冬）  
日時：令和2年1月12日（日）10:00～15:30  
場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・選択（夏）  
日時：令和元年8月25日（日）10:00～15:30  
場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・選択（冬）  
日時：令和2年1月11日（土）12:30～16:30  
場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・東部支部企画  
日時：令和元年11月15日（金）13:00～15:00  
場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）
- ・東京支部企画  
日時：令和元年11月15日（金）15:30～17:30  
場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）
- ・中部支部企画  
日時：令和元年10月6日（日）14:40～16:40  
場所：ホテル日航金沢（石川県・金沢市）

- ・西部支部企画

日時：令和元年9月6日（金）15：45～17：45

場所：高知市文化プラザ かるぼーと（高知県・高知市）

(3) 研修会

- ・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会

日時：令和元年5月25日（土）15：00～17：00

場所：神戸国際会議場（兵庫県・神戸市）

- ・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会

日時：令和元年7月28日（日）15：00～17：00

場所：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本県・熊本市）

(4) Clinical Dermatology Leadership Seminar 2019

日時：令和元年10月26日（土）～27日（日）

場所：都市センターホテル（東京都・千代田区）

(5) 第4回皮膚科サマースクール 2019

日時：令和元年7月14日（日）～15日（月）

場所：ルスツホテル&コンベンション（北海道・虻田郡）

(6) スペシャリティーナース講習会

日時：令和元年6月9日（日） 14:10-16:10

場所：名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）

別途、各支部学術大会においてスペシャリティーナース講習上映会を実施

3. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第129巻）

月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行

- ・The Journal of Dermatology (Vol. 46)

月刊英文誌 計 年12回刊行

- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol. 81)

偶数月（隔月） 計 年6回刊行

- ・JDA Letter

季刊誌 計 年4回刊行

#### 4. 内外の関連する団体との連携

##### (1) 国内

- ・「ひふの日」(11月12日)を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開  
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施
- ・依頼があった皮膚科関連学会の総会等の大会運営支援を実施

##### (2) 海外

- ・24<sup>th</sup> World Congress of Dermatology (WCD)  
日時：令和元年6月10日(月)～15日(土)  
場所：ミラノ(イタリア)

#### 5. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知
- ・AI及びTelemedicineの各Working Groupによる検討
- ・ICT医療等の研究の検討
- ・各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施

#### 6. 専門医の認定及び皮膚科医研修施設の指定

##### (1) 専門医認定

###### ①認定試験の実施

- ・第27回皮膚科専門医認定試験  
日時：令和元年8月4日(日)  
場所：ベルサール日本橋(東京都・中央区)
- ・第13回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験  
日時：令和2年2月2日(日)  
場所：日本皮膚科学会事務局(東京都・文京区)
- ・第13回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験  
受験者なしの為、中止

###### ②関連事業

- ・指導医講習会の実施(継続事業)
- ・新専門医制度への各種対応

##### (2) 研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の更新、取消等の実施

## 7. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・皮膚疾患ケア看護師の認定
  
- ・留学支援制度の発足
  
- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞  
受賞者：村松 憲／北海道大学  
受賞論文：Regulatory T-cell dysfunction induces autoantibodies to bullous pemphigoid antigens in mice and human subjects  
*Journal of Allergy and Clinical Immunology*, 142(6):1818-1830, 2018
  
- ・日本皮膚科学会・雑誌論文賞  
受賞者：新川 衣里子／神戸大学  
受賞論文：ニボルマブ投与後の他剤による薬疹の検討  
日本皮膚科学会雑誌 第128巻第10号 2109-2116, 2018
  
- ・The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2018)  
受賞者：高原 幹／旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
受賞論文：Treatment outcome and prognostic factors of tonsillectomy for aloplantar pustulosis and pustulotic arthro-osteitis: A retrospective subjective and objective quantitative analysis of 138 patients  
*The Journal of Dermatology*, Volume45, Issue7, 812-823, 2018
  
- ・Master of Dermatology  
受賞者：富田 靖／名古屋大学 名誉教授  
貢献したテーマ：多くの色素異常症の病因遺伝子の解明と病因遺伝子に基づいた白皮症  
  
病型分類の確立に貢献
  
- ・日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与  
受領者：住田 隼一／東京大学  
研究課題：皮膚疾患における新規脂質代謝関連分子の役割  
  
受領者：中島 沙恵子／京都大学  
研究課題：皮膚常在微生物による乾癬皮膚炎制御機構の解明  
  
受領者：宮部 千恵／東北医科薬科大学  
研究課題：皮膚血管炎における抑制性共刺激因子の役割  
  
受領者：内山 明彦／群馬大学  
研究課題：転写因子 SOX2 による皮膚虚血再灌流障害（急性期褥瘡）における制御機構の解明および新規治療法の開発

受領者：種村 篤／大阪大学

研究課題：白斑におけるメラノサイト特異的障害に関わるレジデント T 細胞の相互機能解析

受領者：棚橋 華奈／名古屋大学

研究課題：表皮脂質関連遺伝子の異常による先天性魚鱗癬の病態解明と新規治療法の開発

- ・日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費の授与

受領者：大塚 篤司／京都大学

研究課題：シュワン細胞の機能に着目した皮膚アレルギー疾患の病態解明

- ・日本皮膚科学会皮膚医学研究基金の授与

受領者：江川 形平／京都大学

研究課題：末梢組織リンパ管を場とした免疫制御機構の解明

受領者：山上淳／慶應義塾大学

研究課題：自己反応性 B 細胞の単一細胞解析を通じた天疱瘡の病態解明

#### 8. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進

- ・「タイ・ディプロマコース」の実施
- ・皮膚科関連国際会議出席
- ・ILDS（国際皮膚科連盟）活動への協力

#### 9. 皮膚科学に関する情報の公開

- ・日本皮膚科学会ホームページの更新
- ・皮膚科 Q&A の改訂準備

#### 10. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- ・治験委員会による治験に関するアドバイス
- ・一斉メール配信システム導入に伴う E-mail アドレス登録促進
- ・日本専門医機構との各種折衝（継続事業）

以上